

NISSHA 株式会社

「2024 年 12 月期第 2 四半期 WEB 決算説明会」

質疑応答の要旨

(2024 年 8 月 6 日開催)

Q1. 産業資材事業のサステナブル資材の回復理由は何か。

A1. 2023 年は蒸着紙の需要が顧客側の在庫調整で低調だったが、今期は回復基調となっている。世界で 5 工場を運営しており、共通の品質管理の KPI に基づき相乗効果を発揮し、収益性が向上している。

Q2. デバイス事業のタブレット向け、業務用端末向けの需要が強い理由は。

A2. 2023 年はタブレットの新モデルが出なかったが、今年是新モデルの発売により需要が増加している。業務用端末は顧客側の在庫調整が解消され、需要が増加している。

Q3. デバイス事業のタブレット向け需要が好調だが、仮に需要が落ち込んだ場合に収益性を確保できるか。

A3. タブレット向けは設備の償却が終わり、労働力も変動人件費化しているため、需要に応じたコストコントロールが可能であり、収益性を維持できる。

Q4. メディカルテクノロジー事業は売上高の増加に対して収益性は十分か。

A4. 物足りない。アメリカの人件費が高止まりしている。利益率の高い医療機器 CDMO の割合を増やすこと、生産の自動化・プロセス改善を進めることで収益性を向上させる。また、買収した Isometric の利益率は高いため、成長させることで事業全体の利益率を向上させる。